

あいあいっうしん

No. 4 8 7
2018 (平成 30)
11. 15

編集 京都ライトハウス
視覚支援 あいあい教室
TEL : 075-462-4462
FAX : 075-462-4464
aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

赤や黄に染まった街路樹の葉が落ち、秋色の絨毯を歩く季節が訪れました。段々と日が短くなり、朝晩は冬めく風が吹きはじめているこの頃。いよいよ寒さの到来と身構えていたところ、ふと訪れたおだやかな小春日和にほっと一息つく心地ですね。

お天気の良い日は、外遊びを満喫しているあいあいの子どもたち。公園の遊具や砂場でのびのびと遊ぶのはもちろん、落ち葉やどんぐりを見つけて拾うのも楽しい遊びのひとつ。澄みきった空の下、ますます深まる秋を感じながら、身近な自然とのふれあいを楽しんでいます。

それでは、今月のっうしんをお届けします。



11月の予定

- 2日(金) 保護者代表者会議(13:00~)
- 13日(火) 避難訓練(14:00~/全館)
- 15日(木) ひよこクラブお遊び会(14:45~16:15)
- 21日(水) 眼科学習会(10:00~12:00/ライトハウス1階 和室)
- 27日(火) 洛陽保育園との交流(午前:外遊び/雨天時は感触遊び)
- 30日(金) 三者連絡会・合同研修会(盲学校・アイリス教室・あいあい)
「算数的活動(図形など)について」

Music is my life

※引き続き、前期個人懇談を行います。

<実習生の受け入れについて>

- ・11月中旬までの間、介護等体験実習生を受け入れます。
- ・16日(金)に京都外大西高等学校の見学実習を3名受け入れます。
ご理解の程、よろしくお願いたします。

おたんじょうびおめでとう！ 11月生まれのおともだち♪

T さん 2歳になります

集まりでは、大好きなパラバルーンにいつもご機嫌！最近はよく声を出すようになってきて「まんま」「はーい！」と、笑顔いっぱいのTくん。友だちと一緒にアンパンマンの紙芝居を触ったり、箱の中から音積み木やピン球を取り出し耳元で鳴らして興味しんしん…。これからも色々な遊びを楽しもうね！

M さん 5歳になります

「おねえちゃん できる！」と、自信いっぱい遊びを楽しむMちゃん。お気に入りのグーチョキパーの手遊びでかたつむりを作ったり、公園のブランコで立ちこぎをしたり…。かけっこでも、「もっとする！」と張りきっていたね。“できる”自信にあふれたMちゃんの姿は、とってもかっこいいよ！

E さん 6歳になります

“Eちゃん パンチ”の手に手を伸ばしては、大好きなアンパンマン紙芝居にタッチ！この頃はマジックテープの玩具にも興味しんしん、自分で触ろうと一生懸命だね。年長さんになって、ますますやる気いっぱい張りきっているEちゃん。積み重ねてきたその力で、めいっぱい楽しみを広げていこうね！

S さん 7歳になります

製作が大好きなSちゃん。この前は、折り紙をテープで貼って本物そっくりのホットケーキを作っていました。上には四角いバターも乗っていて、とてもおいしそう！うれしそうにみんなに見せていましたね。どんなことにも、積極的なSちゃん。いつも笑顔がいっぱいです。

A さん 7歳になります

みんなとバスに乗ってビブレへ行ったね。いざ売り場に入ると、色々な食べ物を前に「たべたい」とくり返しつつ…お目当てのお菓子コーナーで見つけたドラえもんチョコに大興奮！張りきって並んだレジで、上手にお金も渡せたAくん。色々な経験や挑戦を重ねながら、グンとお兄さんになってきたね！

『眼科学習会』のご案内

眼の構造や病気のこと、眼鏡やコンタクトレンズについてなど…眼科学習会は、普段の診察ではなかなか聞けないことや疑問など、講師の先生をお招きしてゆっくり聞ける機会です。個別相談にも対応してまいります。

★日時：11月21日（水）10：00～12：00

★場所：和室（ライトハウス1階）

★講師：井田 ^い直子^な先生（児童福祉センター 眼科医）

★申し込み締め切り：11月14日（水）



今日も絵描き

あいあい療育風景＊10月

<芋ほり&クッキング>

水・木・金曜日グループは、テラスで育てたさつま芋で芋ほりとクッキングをしました。芋ほりでは土や葉をたくさん触りながら、ツルを力いっぱい引っ張ったり、お芋の大きさを友だちと比べたりして楽しみました。クッキングでは、スイートポテト作りに挑戦！お芋の皮むきをしたり、ボウルなど身近な道具を使う経験ができました。



スイートポテトのクッキング

<親子遠足に行きました！>



騎馬隊の馬に触ったよ！

10月の後半は、グループ遠足へ行きました。植物園では季節の花が咲き並ぶ園内でお散歩をしたり、どんぐり拾いを楽しみました。宝ヶ池公園では、遊具遊びをめいっぱい楽しんだ子どもたち。その後は平安騎馬隊の厩舎^{きゅうしゃ}へ行き、馬を間近で見て触る体験ができました。電車やバスに乗ったり、外でお弁当を食べたり…楽しい1日を過ごしました！

Nさんの巻

はじめまして！今年4月から水曜日にお世話になっている、Nです。

Nはダウン症の女の子で、近視があります。あいあい教室でもアドバイスをいただきながら、6月からメガネをかけ始めました。以前はいつも目を細めていましたが、メガネをかけることで見えにくさからくる負担が減ったようで、意欲が増し、言葉も出るようになってきました。

今ではあいあい教室にもすっかり慣れて、おうちでも「あいあい、あいあい」と言って、テーマソング(?)のアイアイを歌って、と要求してきたり、「あいあい行くよ」と声を掛けると、嬉しそうに「あいあい」と言ったりしています。保育園とは違って小さな集団の中で、お友だちの様子も感じながら、じっくりとNのペースで過ごせることが心地よいのかな、と感じています。

9月の保育園の運動会では、取り組みを通じて、まだまだ無理だと思っていたことが、できた！という体験がありました。できない、と決めつけずに、挑戦すること、働きかけることの大切さに気付かされました。

来年は年長さん。Nの可能性を信じ、一步ずつ歩みを進めていきたいと思います。先生方、皆さん、どうぞよろしくお願いします。

母

「おはよう！」と声をかけると、にっこり笑顔のNちゃん。最近は外遊びを満喫しています。公園へ向かう道では、バスを見つけて指さし、「バス！」とうれしそう♪すべり台の築山を登って、勢いよくすべるのも大好きなんだよね。これからも、Nちゃんのやりたい気持ちを大切に、思いきり楽しもうね！



ご寄付をいただきました

この度、(株)京都銀行さまより“見えない・見えにくい子どもたちのために”と、玩具のご寄付をいただきました。あいあい子どもたちと一緒に、たくさん遊びたいと思います。本当にありがとうございました。

Music is my pleasure

Rさんの巻

はじめまして。今年4月から通い始めましたR、5歳です。『Rちゃん』と呼んでください！Rちゃんは生後すぐに病院のNICUに搬送され、そこでダウン症候群の診断を受けました。合併症に心室中隔欠損症、先天性白内障、甲状腺機能低下症があります。心臓は3ヵ月、1歳6ヵ月の時に、白内障は5ヵ月の時に手術しました。それ以降コンタクト生活です。今年の夏には念願の眼鏡も作り、コンタクトと眼鏡を使い分けながら毎日の保育所生活&あいあいを楽しく過ごしています。ついこの間…5歳3ヵ月にしてやっと歩けるようになり、嬉しさ満開、いたずら全開の様子です。

電車や乗り物が大好きで、なかでもドクターイエローが一番大好きです。黄色い、何やら新幹線のを身に着けた男の子を見かけたら、「Rちゃん！」と声をかけてくださいね。これからも、親子共々よろしくお願いいたします。

母

この頃、好きな遊びが広がってきたRちゃん。初めは怖かったパラバルーンも、今ではお気に入り♪中に入って触ったり、外から持って歩いたり…自分でできるのがうれしくて、誇らしげな笑顔のRちゃん。やってみたい気持ちや、楽しさいっぱいの経験を、これからも一緒に重ねていこうね！

☆『ライトハウスまつり 2018』のご報告☆

10月28日(日)に秋晴れの空のもと『ライトハウスまつり』が行われ、たくさんの方に来ていただきました。

あいあい教室は保護者の皆さんと職員と一緒に、恒例の“焼きそば屋さん”を出店。行列ができる中、296食を完売しました！おいしい焼きそばを作ったお父さん方、笑顔で販売してくださったお母さん方、本当にありがとうございました。



焼きそばを焼くお父さんたち

“みんなで学ぼう！～就学・就園・放課後支援⑥～”

今月は、見えない・見えにくい子どもたちの「就学後の放課後（長期休暇）支援」の“放課後等デイサービス”について取り上げます。

<放課後等デイサービスとは>

障がいや発達に特性のある6～18歳の就学児童が放課後や長期休暇を過ごす場所です。通所の申し込みには、市町村から発行される受給者証が必要となります。開所時間や定員、送迎の有無は事業所によって異なりますが、平日は学校終了時～夕方頃まで、土曜日と長期休暇中は午前中から開所している所が多いです。利用料は、世帯所得などによって異なります。

<どんな過ごしをしているの？>

サービス内容は「放課後等デイサービスガイドライン」によって、ひとりひとりの個別支援計画書に基づき、①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供、以上の活動を組み合わせて支援を行うことが求められています。実際の過ごし方は、利用目的や各施設の特徴に合わせてタイプがあります。自由に過ごす時間が比較的多い所や、運動や絵画、学習などのプログラムに特化した所もあります。

<利用にあたって>

事業所を探す際には、市区町村の福祉担当窓口や障害児相談支援事業所などに相談ができます。障害児相談支援事業所とは、障害児通所施設（児童発達支援・放課後等デイサービスなど）の利用申請手続きにおいて、「障害児支援利用計画」を作成し、一定期間ごとにモニタリング等の支援を行う所です。

放課後等デイサービスの利用を希望される場合は、実際に利用したい事業所に直接問い合わせて見学することをおすすめします。施設によっては体験を実施している場合もありますので、ぜひ利用しましょう。見学や体験は、利用している児童の様子を見たり、職員の方たちと話ができる大切な機会のひとつ。事業所の雰囲気を知ることはもちろん、利用したい条件に合っているかどうかや、お子さんにとって安全に楽しく過ごせる環境かどうかを確認できるといいですね。

放課後等デイサービスは、就学児童への社会経験や居場所の提供、学習と生活のサポート、余暇を楽しむ場所など様々な目的のある施設です。そのため、施設の特徴や形態は多岐に渡ります。お子さんにとって見通しのもちやすい生活リズムが考えられるよう、本人の様子に合わせて利用を検討しましょう。

続いて、保護者の体験談をご紹介しますので、ぜひ参考にしてください。

【保護者体験談①】 H さんのお母さん

はじめまして、Hの母です。Hは、出産時の事故で低酸素性虚血性脳症きょけつせいになり仮死で生まれました。なんとか一命をとりとめましたが、脳性麻痺まひとなり、常時口腔・鼻腔からの吸引や経管栄養を必要とする「医療的ケア児」です。あいあい教室には、学童クラスまでの4年間お世話になり、現在は市内の総合支援学校に通っています。

今日は皆さんに、Hの放課後の過ごし方を紹介したいと思います。Hは1年生から放課後等デイサービスを利用しています。放課後は「お友達と楽しく過ごす時間」と、当然のこととして捉えていたので、就学前から事業所探しを始めました。ところが、今たくさん事業所がありますが、医療的ケア児を受け入れて下さるところがその時は市内に2箇所しかありませんでした。その中で、学校と自宅まで送迎可能な事業所をお願いをして、1年ごとに利用日も増え、今では週3日お世話になっています。デイサービスでは、お友達と楽しく過ごしたり、大好きな職員さんに抱っこで学校での疲れを癒やしてもらうなど、満喫しているようです。

家と学校以外に活動場所が増えたことで、支援の輪がまた一つ大きくなり、たくさんのお出会いと経験を積みかせてもらい成長したなぁと感じる今日この頃です。また、母も子と離れる時間を持つことで仕事もできるようになりましたし、これまで何をすることもずっと一緒でしたから、少し距離をおくことで心に余裕がもて、母子それぞれが充実した毎日を過ごせています。今はさまざまな放課後支援がありますから、みなさんにとって素敵な過ごし方が見つかるといいですね。



【保護者体験談②】 ○さんのお母さん

盲学校に通っている1年生の○の母です。○は全盲の女の子です。盲学校入学と同時に放課後等デイサービスの利用も開始しました。放課後等デイサービス（放デイ）とは、学童より少人数版の放課後の遊び場で、1日10名程の定員で支援が必要な子を配慮して預かって頂ける場です。○は毎週楽しみに行っています。放デイを利用しようと思ったきっかけは、幼稚園は地域の幼稚園に行っていてとても賑やかな環境で過ごしてきましたが、盲学校は人数が少ないのでお友達との関わりを増やせる場所が欲しいなと思ったのがきっかけです。こちらのライトハウスの相談支援室にお世話になり、○の性格や保護者である私のニーズなど色々聞いて下さった上でいくつかご紹介頂き、その中から決めました。

視覚障がいの子どもを受け入れるのは初めてという事で、あいあいとも連携を取って頂き環境を整えて受け入れて下さいました。放課後学校が終わる時間に学校まで迎えに行ってお送り、○は放デイに着くとお友達とピアノを弾いたりダンスをしたり、○ちゃん大好きと言ってくれるお兄ちゃんお姉ちゃんに囲まれて楽しく過ごしているようです。おやつ後は、私もやる！とお皿洗いまでしているそうで、お友達から刺激を受けて色々な事を進んでやっています。土曜日はバスや電車に乗ってみんなでお出かけしたりクッキングをしたり、お友達との時間をいっぱい楽しんで本当に満足した顔で帰ってきます。

とても思いやりがあり、子どもに寄り添って下さるスタッフさんと優しいお友達に出会えて、○にとって家庭以外で信頼して過ごせる第二の居場所が出来た事は、親としても嬉しく自信にもなりました。夏休みや放課後預かって頂けて時間的にも助かるだけでなく、色々な人と関わる事で心の成長も感じられています。普通に学校に行くと自然と沢山お友達が出来てということが難しい分、こういった場所は大変有り難く、親が環境を作ってあげる必要もあるかなと思います。事業所によって絵画や運動、音楽など何かに特化している放デイもあれば様々で、お子さんにあった場所を見つけてあげると良いと思います。

あとがき メールでのやりとりも楽しいけれど、やっぱり手紙が好き。相手を思い浮かべながら絵葉書や便箋を選んで言葉を綴る…大切なひととき。 榎木

★ホームページ版「あいあいつうしん」がご覧になれます★

京都ライトハウスのホームページ内、あいあい教室のページから「あいあいつうしん Web版」のコンテンツにアクセスしてください。写真がカラーで掲載されています。Web版もぜひご覧ください！